

施策評価シート(令和3年度)

(基本施策の大綱) 3. 交通拠点性を生かした都市活力の向上

(基本施策) (2) 地域に根ざした商工業の活性化

(評価担当者)

産業環境部長

富田 真左哉

■基本施策が目指す姿

市内事業者が、地域に根ざし活発な経営を行っています。

■関連する分野別計画

■成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	都市拠点における空き店舗活用件数	件	-	H27	0	3	5	6	8	5
2	カメラマ創業アシストのサポートを受けた創業件数	件	-	H27	5	8	9	11	22	30
3										
4										
5										

■市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	日常の買い物がしやすい	重要度 1.37	1.31	1.39	
		満足度 0.02	0.13	0.22	
2	外食や宴会等を行う場所が充実している	重要度 0.72	0.74	0.58	
		満足度 ▲1.04	▲1.07	▲1.01	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

■総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んだ	空き店舗等活用支援や亀山ブランド創出などに「にぎわいのある商業地域の形成」は、順調に進んでいる一方で、新型コロナウイルス感染症により、「カメジョブキッズ」や「亀山大市」等のイベントが中止となり、多様な主体による一体的な取り組みについては、あまり進んでいない。また、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策については、事業により成果にバラツキはあるが、まずまず進めることができている。さらに基本施策に設定する成果指標において、都市拠点における空き店舗活用件数は目標を超えていることもあり、総合的には基本施策が目指す姿にまずまず近づけることができていると判断し、総合評価をBとした。
反省点・課題	
コロナ禍においても創業件数は順調に増えており、若者や女性が創業する事例も増えてきており、にぎわいのある商業地域の形成に向けた創業支援、市内事業者の新たな事業展開や安定した経営を支援するためには、資金繰り支援を継続して実施していく必要がある。また、新型コロナウイルス感染症等による経済対策については、原油価格高騰や物価高騰により停滞している市内経済を循環させるため、消費喚起対策など、さらに今後の感染状況やポストコロナを見据えた施策を進める必要がある。さらに、地域資源を活用した地域に根ざす産業の創出に向けて、農商工が連携して亀山ブランドに初認定した10事業者17品目を中心にPRを展開するとともに、新たな特産品の発掘から販路拡大まで一連の支援を行うなど、更なる市の知名度と生産者の生産・販売意欲の向上を図る必要がある。	

今後の展開方針

引き続き亀山商工会議所と連携し、積極的に創業にかかる支援体制や相談体制の情報を発信し、創業意欲効果の向上につなげる。また、創業セミナーの開催や補助制度の活用により、若者・女性の創業支援を積極的に行っていくとともに、セミナーに参加された人からの意見も聞きながら創業にチャレンジできる環境づくりについて検討していく。一方、新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き、今後の感染状況やポストコロナを見据えた施策を的確に実施していく。さらに、県や亀山商工会議所等の関係機関と連携し、経営のアドバイスや資金繰り支援、市内商業団体への助成事業を引き続き行う。また、特産品の販路拡大や特産品の発掘から販路確保までを一貫して支援する亀山ブランド創出事業は、「認定」「支援」「PR」の3つの取り組みをバランスよく展開するとともに、事業者と一緒に新たに商品開発に取り組んでいく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向① にぎわいのある商業地域の形成						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】		
A 順調に進んだ	活動	亀山商工会議所と連携し、既存商業施設が集積する都市拠点において創業を促進させるため、空き店舗等活用支援補助制度の活用や市内創業者の紹介を含めた冊子『創業支援事業の事例紹介』を作成して配付するなどの情報発信に努めた。			評価	空き店舗等活用支援補助金により、関都市機能誘導区域に2件の申請があり、創業につなげた。平成30年度に制度を新設してから4年間で、亀山中央、井田川、関の各都市機能誘導区域において合計8件が創業しており、にぎわいのある商業地域の形成に寄与できた。
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業	主	5,135 / 4,132	A	A
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向② 多様な主体による一体的な取り組みの促進						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】		
C あまり進まなかった	活動	補助金による継続的な団体支援のほか、「亀山まちゼミ」や、「亀山大市」(亀山商業団体連合会主催)の開催に向けて関係団体との協議を行った。また、「カメジョブキッズ」の開催について、新型コロナウイルス感染症の影響による感染拡大防止の対応、開催の有無を、主催・主幹となる亀山商工会議所、亀山商工会議所青年部と検討を行った。			評価	亀山商工会議所や亀山市商業団体連合会、亀山市東町商店街振興組合などの活動を一部補助することで、市民の豊かな消費生活の確保を見込んでいた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により「カメジョブキッズ」や「亀山大市」等多くのイベントが中止となったことにより、施策をあまり進めることができなかった。
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	18002	地域企業魅力発信・子どもの職業体験支援事業	主	0 / 0	D	D
	7007	団体支援事業(商工業振興事業)	標	11,655 / 11,365	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向③ 市内事業者の経営力の向上						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】		
B まずまず進んだ	活動	長引くコロナ禍の影響により停滞する市内経済を循環させるため、総合対策パッケージの経済対策として、「小規模事業者等感染防止対策費用助成事業」「販売促進事業者支援エールチケット事業」を亀山商工会議所と連携して実施した。			評価	まずは、事業者や市民が安心して経済活動が行えるよう感染防止対策を図るため、感染防止対策に係る費用助成を行ったが、申請者は見込みを大幅に下回った。エールチケットは、300事業者の見込みに対して、289事業者が申請するなど、事業者支援につながったが、一方で市民への消費喚起の面ではチケット販売率が約48%と効果は限定的となった。
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業	主	5,135 / 4,132	A	A
	21003	小規模事業者等感染防止対策費用助成事業	主	10,608 / 10,607	C	C
	21004	販売促進事業者支援エールチケット事業	主	63,645 / 63,508	B	B
				/		
				/		
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向④ 新たなビジネスの創出						
(個別判定)	【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】			【左記の活動により、施策は推進できたか】		
A 順調に進んだ	活動	市内での創業予定者や創業後間もない事業者を対象に、専門家を講師とした創業セミナーや個別相談会を開催するとともに、資金繰り支援についても周知を図った。また、農商工連携により、新たな特産品の発掘から販路確保までの事業を展開するため、亀山市地域ブランド推進協議会を中心に協議を行い、「認定」支援「PR」の取り組みを進めた。			評価	コロナ禍ではあったが、創業セミナーには11人が受講し、新たに受講者1人が創業した。また、創業資金利子補給制度や創業・再挑戦融資制度保証料補給制度の資金繰り支援により、創業者の負担軽減と経営の安定を図ることができた。さらに、亀山ブランドでは、10事業者17品目の初認定やPRイベントなど、戦略的な情報発信を行うことができた。
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17062	創業等支援事業	主	5,135 / 4,132	A	A
	7006	一般事業(商工業振興事業)	標	11,020 / 4,890	B	B
事業以外の取組	内容				活動	成果